

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 4 月 9 日 (2015.4.9)

【公開番号】特開 2013-78369 (P2013-78369A)

【公開日】平成 25 年 5 月 2 日 (2013.5.2)

【年通号数】公開・登録公報 2013-021

【出願番号】特願 2011-218513 (P2011-218513)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/49 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

【F I】

A 4 1 B 13/02 G

A 4 1 B 13/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 2 月 23 日 (2015.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

縦方向及び横方向を有し、前記縦方向へ延びる吸液構造体を含む使い捨て着用物品であって、

前記吸液構造体は、透液性の身体側ライナと吸液層とを有し、

前記吸液層は、透液性の第 1 シートと、透液性又は不透液性の第 2 シートと、前記第 1 及び第 2 シート間に介在され、かつ、両シートのうちの少なくとも前記第 1 シートの内面に固定された吸水性ポリマー粒子とを含み、前記身体側ライナと前記第 1 シートとの間には少なくとも前記吸液層の中央部において前記縦方向へ延びる複数条の弾性体が伸長状態で配設されており、

前記身体側ライナと前記第 1 シートとは、前記縦方向へ延び、かつ、前記横方向において互いに所与寸法離間する複数の接合部を介して接合されており、

前記弾性体が収縮することによって前記身体側ライナ及び前記第 1 シートに前記横方向へ延びる複数の凹凸条が形成され、前記第 1 シートと前記第 2 シートとの間に体液保持部が画定されることを特徴とする前記着用物品。

【請求項 2】

前記吸液層は、前記第 1 シートと前記第 2 シートとが互いに接合された非吸液域と、前記非吸液域に囲まれた、前記吸水性ポリマー粒子が被包された複数の吸液域とをさらに含む請求項 1 に記載の着用物品。

【請求項 3】

前ウエスト域と、後ウエスト域と、前記前後ウエスト域間に位置するクロッチ域とを形成するシャーシをさらに含み、前記シャーシの前記クロッチ域には、前記吸液構造体を固定するための接合域が形成されており、前記接合域の中央部のうちの少なくとも前記弾性体と重なる部位には、非接合域が画定されている請求項 1 又は 2 に記載の着用物品。

【請求項 4】

前記弾性体は前記縦方向に約 1 . 2 ~ 2 . 4 倍に伸長された状態で配設されており、隣り合う前記弾性体どうしの前記横方向における離間寸法は、約 5 ~ 40 mm である請求項

1 ～ 3 のいずれかに記載の着用物品。

【請求項 5】

前記凹凸条は前記縦方向において交互に位置する複数の凸部と複数の凹部とを有し、前記凸部の最端部位と前記凹部の底部との離間寸法が約 2 . 5 ～ 1 5 m m である請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の着用物品。

【請求項 6】

前記第 1 シートの内面には、質量約 3 0 ～ 3 0 0 g / m <sup>2</sup> の前記吸水性ポリマー粒子が固定されている請求項 1 ～ 5 のいずれかに記載の着用物品。

【請求項 7】

前記吸水性ポリマー粒子は、前記第 1 シートの内面に疎水性のホットメルト接着剤を介して固定されている請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の着用物品。

【請求項 8】

前記吸液域は、前記吸水性ポリマー粒子と吸水性繊維との混合物から形成された吸収性コアを含み、前記吸水性繊維の混合率が 3 0 % 以下である請求項 2 に記載の着用物品。